

小学校版「SOSの受け止め方指導プラン」学年・学年ブロック集会（小学校中学年）

- 1 ねらい これまでの学習を振り返ることで、自分も安心できる環境づくりの一員として、これからの生活に生かしていこうという意欲を高める。
- 2 準備 ワークシート、資料（授業で使用したプレート）等、
T 2（管理職や専門の先生等）との打合せ
- 3 展開

学習活動（15分）○：留意点 点線：評価 ☆：振り返りの児童の意識
1 学級活動の内容を振り返り、授業の感想や分かったこと等の意見交流を行う。（5分） ・「相談の受け止めさん」について、内容を確認する。 ・学活の授業での感想を伝え合う。 ○司会進行は、教員が行う。 ○授業で使用したワークシートを児童に返却しておく。 ○授業で使用した掲示資料を見せて「相談の受け止めさん」について想起できるようにする。 ○授業のまとめで書いた部分について、3分間で他学級の友達2人と交流することを伝える。 ○友達の考えと自分の考えを比べながら聞くことを伝える。 ☆自分と違う考え方ってたくさんあるんだな。 ☆自分と同じ考えの友達がいると、なんだか安心するな。
2 これまでの学習のまとめをする。（6分） ①SOSの受け止め方に関する学習のまとめをする。 ・ 専門の先生等から話を聞く。【校長、教頭、養護教諭、学校医、SC、等】 ○児童に話す内容は、以下の点等について触れてもらうよう、T 2に事前に伝えておく。 ・ 友達の様子の変化に気づき、声をかけることが大切であること。 ・ 相手を思いやり、相手の立場に立って聴くことが重要であること。 ・ 相手の気持ちを汲み、無理やり解決に結びつけないこと。 ・ 「相談の受け止めさん」を活用すると、相手が相談しやすいこと。 ・ 自分だけで背負わず、先生や親などにも伝え、解決につながるようにすること。 ☆友達の変化に気付いて、声を掛けていきたいな。 ☆先生にも伝えて、みんなで解決させることができるようにしたいな。
②SOSの出し方・受け止め方の学習のまとめをする。（4分） ・ SOSの出し方・受け止め方の学習のまとめをする。 ○学年の担当教員が、以下の点等について触れ、学習の振り返りができるようにする。 ・ 相談中に違う友達に話しかけられたら「ちょっと、まっけていてくれるとうれしいな」「後で聴くのもいい？」等の言葉を伝えられるとよいこと。 ・ 「相談の出し方さん」「相談の受け止めさん」を上手に使っていくこと。 ・ 先生や親、地域の人達たちがゲートキーパーとして、常に身近にいること。 ☆「相談の出し方さん」と「相談の受け止めさん」を使っていきたいな。 ☆友達だけでなく、先生にも相談をして、不安や悩みを解決させていきたいな。